

# 宇都宮市立宝木小学校 第4学年 児童質問調査

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 「家で、学校の宿題をしている。」の肯定回答は、92. 8%と高い。着実に家庭学習を行う児童が多い。
- 「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。」の肯定回答90. 2%と高く、県よりも7ポイント高い。「勉強していて、『不思議だな』『なぜだろう』と感じることがある。」の肯定回答は、88. 4%で県より6ポイント高い。学習に高い興味を持っている児童が多いことがわかる。前向きな学習意欲を大切にし、授業を展開し、児童の学びに向かう力を伸ばしていくたい。また、学習したことが実生活に生きるように、総合的な学習の時間や学級活動などに学びが広がっていくようにしていきたい。
- 「できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている。」の肯定回答は、82. 2%で県の肯定回答と同等で高い。「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。」の肯定回答は、96. 4%と高い。授業を通して、教師が実生活につながる話をしたり、授業展開を工夫したりしている成果がでている。本校の研究教科である総合的な学習の時間の授業研究や展開も児童の想いを大切にしたものであり、アンケートの結果に反映されていると考えられる。
- 「毎日の生活が充実している。」の肯定回答は、89. 3%と高い。「クラスは発信しやすい雰囲気である。」の肯定回答は、83. 9%である、「先生は学習のことについてほめてくれる。」の肯定回答は、91. 9%と非常に高い。「自分には、よいところがあると思う。」の肯定回答は、84. 9%と高い。日頃、教師が児童の想いを大切に指導・支援をしていることが結果につながっていると考えられる。引き続き、児童の想いを大切に、一人一人の活躍や成長を目指して、学級経営、授業づくりに取り組んでいきたい。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている。」の肯定回答は、71. 5%である。現在、学校全体で家庭学習の在り方やルールの確認をしている。「家で、学校の宿題をしている」は良い状態になってきていているので、自主学習の方法やバリエーションを児童に指導した上で、自己選択・決定、そして学ぶ習慣化が進んでいくようにする。
- 「家で学校の授業の復習をしている。」の肯定回答は、57. 1%と県よりも7ポイント低い。継続して家庭学習の大切さを啓発し、及び反復練習に効果的なドリルワーク(紙面のドリル・AIドリルの両面から)の課題を出す工夫をしていきたい。
- 「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている。」の肯定回答は72. 3%で県より6ポイント低い。一方で、授業で自分の考えを書くことは難しい。」の肯定回答は、68. 8%で県より5ポイント高いことから、授業展開に、児童一人一人に振り返る時間を設け、またそれらを書いて残す授業づくりを再考していく。その際、書き方の具体的な提示、振り返る観点を示すことや、児童が振り返る「気持ち」「感想」はどんなことを書いてもいいという雰囲気づくりにも努めてきたい。
- 「普段1日当たりにどれくらいの時間、テレビやDVDを見たり、聞いたりしますか。」と「普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。」の「4時間以上」利用している割合がどちらの設問も県より7ポイント高い。学級活動や学年集会を通してメディア機器等が体や学力に与える影響を児童に伝えていきたい。また、学年便りや懇談会を通して家庭にも情報を提供したい。